

# 薬剤部だより No.246

山口大学病院薬剤部 2010.7.15



## 院内製剤から市販薬へ切替えます

従来品		変更品
(院)純エタノール5mL、20mL	⇒	無水エタノール注「フソー」5mL
(院)オスバングリセリン液100mL	⇒	グリセリン BC 液60%「ケンエー」250mL

在庫がなくなり次第それぞれ変更する予定です。

## セファランチン注射剤の一部限定出荷について

既に文書でお知らせしましたように、セファランチン注射剤10mgは一時出荷停止中です。しかし、これから「まむし咬傷」が増える時期となり、セファランチン注射剤が不可欠となります。これに伴い、「まむし咬傷」に限定して出荷されることになりました。薬剤部に30A在庫していますので、必要の際は手書き処方箋(「まむし咬傷用」のコメントを付記)を薬剤部へ送付して下さい。

## エピネフリン注0.1%シリンジ「テルモ」は販売名変更品へ交換しました

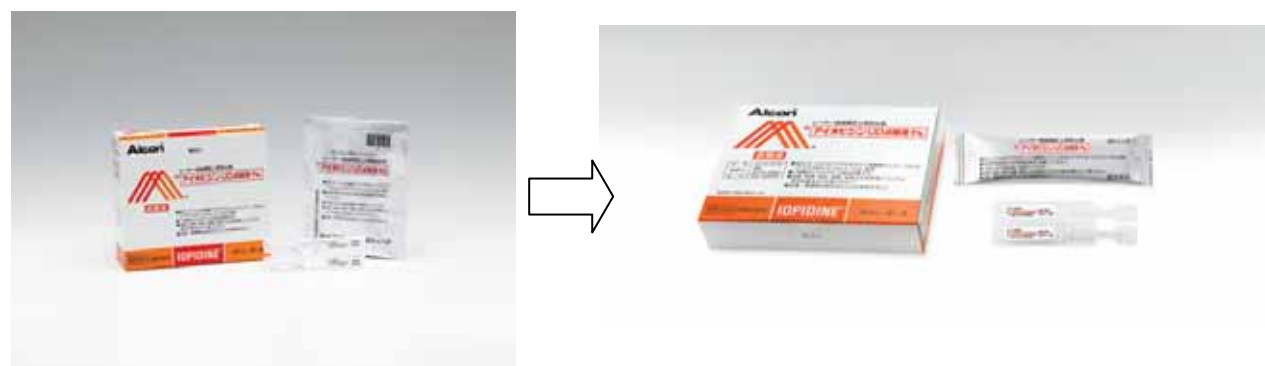
エピネフリン注0.1%シリンジ「テルモ」は、アドレナリン注0.1%シリンジ「テルモ」へ販売名称が変更になり、平成22年7月1日から保険請求できなくなりました。既に新名称品へ交換済みですが、まだ在庫にエピネフリン注がございましたら、交換しますので薬剤部に至急ご返却下さい。

## アイオピジンUD点眼液1%包装変更のお知らせ

アイオピジンUD点眼液1%の包装箱、アルミ袋、梱包箱が変更になる予定です。

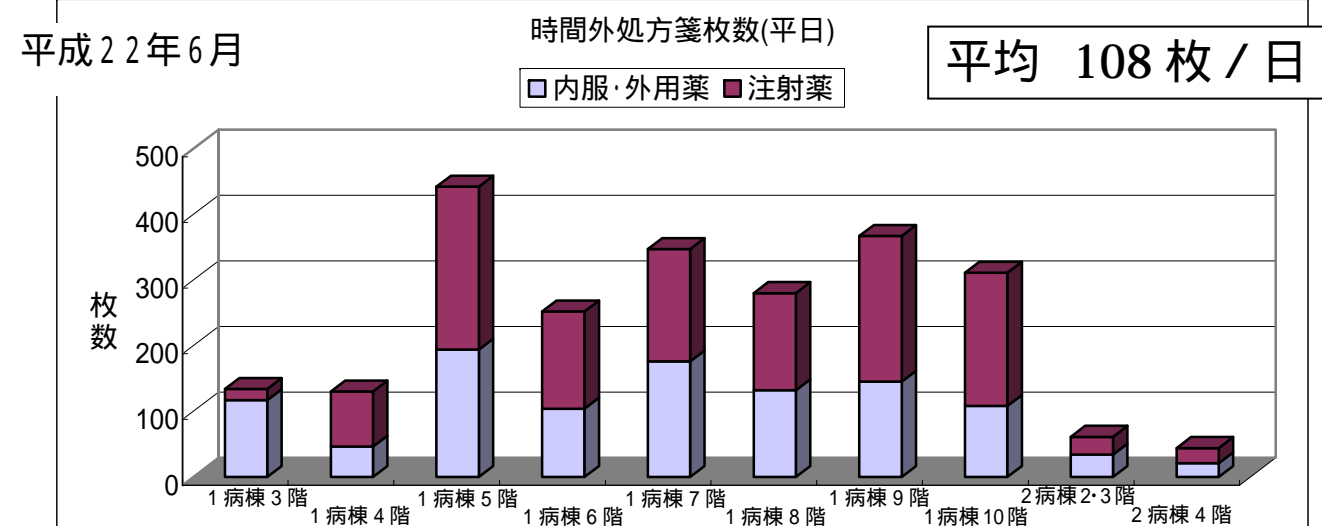
従来品

変更品



## 時間外処方箋枚数の減少にご協力ください

宿直は薬剤師1人で業務を行っています。時間内の処方忘れがないよう御注意下さい。また、時間外処方の投薬日数は、通常1日分、休日前日は休日+1日分(医薬品集p9)ですので、再度徹底していただくようお願い致します。参考までに平成21年6月は平均99枚/日でした。



## 無菌製剤処理料が自動で医事請求されるようになりました

薬剤部だより No.243でお知らせしていました無菌製剤処理料の自動医事請求は、システムの不具合への対応がようやく完了し、7/14から実施可能となりました。なお、前投薬や高カロリー輸液に対して「製剤室にて混注」のコメントを入れている処方が見受けられますが、算定の対象外です。今後は抗悪性腫瘍薬にのみコメントを入れていただくようお願い致します。

## 販売会社変更のお知らせ

- トフラニール錠10mg、25mgは平成22年9月よりノバルティスファーマ株式会社からアルフレッサファーマ株式会社へ製造販売会社が変わります。
- クレキサン皮下注キット2000IUは平成22年10月1日よりサノフィ・アベンティス株式会社から科研製薬株式会社へ販売会社が変わります。なお、適正使用情報の提供および安全情報の収集・伝達は平成22年7月1日から科研製薬株式会社が行っています。

## 削除薬・代替薬のお知らせ

- 「ネスプシリンジ15mg」の在庫がなくなったため6/17でオーダ中止
- 「オステン錠200mg」の在庫がなくなったため7/5でオーダ中止
- 「アズノールST錠5mg」は6/28に在庫がなくなったため、後発品の「アズレミック錠口腔用5mg」へ変更となりました。